

2

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス

第61回受賞作品(2020年)



(株)日建設計、戸田建設(株)の設計担当の方々及び作業所長のご説明のもと、教室、レコーディングスタジオなどの施設を見学。なかでも、レッスン室・TCMホール(音楽ホール)ではピアノの生演奏を聴いて、緻密な設計を耳で体感しました。また、キャンパスの中心を貫く「音楽のみち」には、地域の方も利用できるレストランや広場などがあり、開放的な雰囲気でした。

説明者 株日建設計 設計監理部門(設計グループ) アソシエイト 八里直輝さん
戸田建設株 本社 建築設計統轄部 建築設計第1部 業務・商業施設設計室 室長 加藤亨さん
本社 建築設計統轄部 支店プロジェクト設計部 横浜設計室 主任 酒井彩花さん
本社 建築営業統轄部 開発推進部 部長 宮本徹さん
東京支店 建築工事1部 作業所長 平岡佳樹さん



素晴らしいピアノの演奏で、ホールの音響を体感することができて良かったです。

建築主:学東京音楽大学
設計者:(株)日建設計、戸田建設(株)
施工者:戸田建設(株)

設計の意図や施工上の苦労話、施工者である所長の話が印象的でとても良かった。



各所は複雑だが、しっかり機能がある。もっとこの場所に居たいと思うほど快適な空間だった。

BCS賞 受賞作品 バスツアー 実施報告

今年の2月28日と3月5日に、「BCS賞」に輝いた建築物を訪ねる「BCS賞受賞作品バスツアー」を開催しました。

60年以上の歴史を持ち、これまで多くの建築作品を表彰してきたBCS賞。バスツアーでは、この受賞作品のなかから厳選した建築物を見学し、関係者の方々から当時の話や建築物への想いを伺うことができました。

普段はなかなか見ることも聞くこともできない建築物の“裏側”を巡る、参加者の様子やその声をご紹介します。



1

Hareza 池袋

第63回受賞作品(2022年)



Hareza池袋は、豊島区が掲げる「国際アート・カルチャー都市構想」のシンボルプロジェクトであり、官民連携したエリアマネジメントによって成り立っています。

このプロジェクトは、中池袋公園と、それを取り囲むHareza Tower、東京建物Brillia HALL、としま区民センターの3つの建物から構成されています。池袋を象徴する広場空間は、3棟の建物の低層部を統一的なアーバンスクリーンとしてデザインし、街区レベルで修景することで隣接の公園と連携したアクティビティを組み込み、「Hareza(ハレ・座)」の名にふさわしい祝祭空間を生み出しています。

建築主の東京建物(株)、設計・施工担当の鹿島建設(株)の方々から、公園と3つの建物を連携させて活用するためになされた細やかな工夫を伺いました。その空間で一体的に行われるアクティビティを実際に歩きながら感じました。

説明者 東京建物(株) ビルマネジメント第二部 主任 遠藤祐也さん
鹿島建設株 建築設計本部 グループリーダー 土田耕太郎さん

建築主:東京建物(株)、(株)サンケイビル、豊島区
設計者:鹿島建設(株)、(株)伊藤喜三郎建築研究所
施工者:鹿島建設(株)、(株)松尾工務店



設計段階での事業者間意思疎通の重要性がよく理解できて良かった。



各ディテールに込められた意味を説明いただき施設の見方が変わりました。

4

資生堂銀座ビル

第56回受賞作品(2015年)



設計・施工を担当した(株)竹中工務店、建築主である資生堂の方々のご案内のもと、レストランやホール、研修室など様々な施設を見学。建築主の企業理念を体現した、複合的かつ高水準な空間の設計・施工の秘密を伺いました。

説明者 株資生堂 ファシリティマネジメント部 部長 下野勝之さん
ファシリティマネジメント部 プランニング1G グループマネージャー 竹ノ脇喜正さん
ファシリティマネジメント部 オフィスコンシェルジェ G グループマネージャー 小笠原秋子さん
株竹中工務店 執行役員 濱野裕司さん
東京本店 設計部第5部門 シニアチーフアーキテクト 山仲多佳さん



資生堂(建築主)の方に
どんな使い方をしているのか
伺えるのはすごいことだと思いました。
設計者の方の話も詳細で良かった。

建築主:株資生堂
設計者:株竹中工務店
施工者:株竹中工務店



一般の方が見る事が
できない所を見られたのは
非常に貴重な体験だと思います。



特設サイト
はこちら

資生堂銀座ビルは、創業の地「銀座」に未来に向けた新たな価値の創造拠点として計画されました。

建物全体を覆うアルミシェードは、「未来唐草」と名付けられ、3Dの構造解析や風動実験を通じて性能検査が行われました。

3階の「資生堂花椿ホール」は、映像撮影からイベント開催、オンライン配信や拠点間連携など、多目的な活用を実現する最新設備が備えられています。

昨年11月には、次世代を担う経営リーダーを育成する施設「Shiseido Future University」が6~10階にオープン。世界中から集まる参加者がフラットに交流できるスペースや、アートやヘリテージスペースを随所に配置し、ビジネスの知見だけでなくビューティーカンパニーに相応しい美への感性や心の豊かさを育む空間となっています。

3

国立競技場

第63回受賞作品(2022年)



提供:独立行政法人日本スポーツ振興センター



設計・施工を担当した大成建設(株)の方のご案内で施設内外を見学しました。
圧倒される規模でありながらも緻密に設計された屋根架構や、普段はなかなか入れないVIPエリアなどのデザイン、施工の工夫を伺いました。ピッチに立つと、まるで選手になったような気分で見学者の熱気も高まりました。

説明者 大成建設(株) 設計本部 建築設計第七部長 川野久雄さん

国立競技場は、設計12カ月、施工36カ月、かつて経験のないミッションに挑み、要求水準、コスト、工期を守り、結実した一大プロジェクトです。

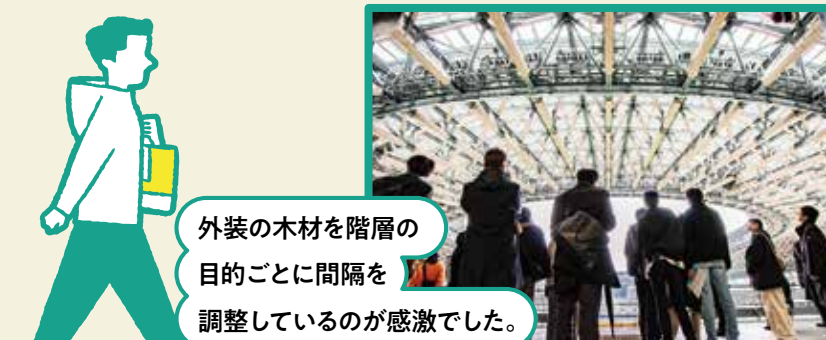
見え隠れする屋根の重なりなど日本独自の建築作法を引用し、「深い陰影のある軒庇」、「縁側とデッキ緑地と森」の連なりなど、巨大な建築にもかかわらず、魅力的で細かい環境共生デザインが施されています。

日本人に馴染む47都道府県の木材の活用、光と風と視野が駆け抜けるオープンエリア、自然光による天然芝と屋根付客席の快適性の両立、多様性社会に適したデザインなど、人間が自然とつながろうとしている時代に相応しい空間にあふれています。

建築主:独日本スポーツ振興センター
設計者:大成建設(株)、(株)梓設計、(株)隈研吾建築都市設計事務所
施工者:大成建設(株)



丁寧に説明していただいてわかりやすかった。
ピッチ内やVIPルームに入ることができ、楽しめた。



外装の木材を階層の
目的ごとに間隔を
調整しているのが感激でした。